



謝 冠斌

パートナー+86 10 64096099

guanbinxie@lifanglaw.com

学歴

- 北京大学 経済法研究科 博士
- 武漢大学 知的財産権法研究科 修士
- 武漢大学 経済法学部 学士
- 知的財産権及び技術譲渡関連の研修コース（日本）

経歴

- 国家科学技術委員会政策法規司及び国務院知的財産権執務室の公務員：1994～1999
- 華科知的財産権司法鑑定センターの主任：1999～2001
- 立方法律事務所創立パートナー及び代表弁護士：2002～現在

使用言語

中国語 / 英語

プロフィール

謝冠斌弁護士は立方法律事務所の代表弁護士として、現在、多数の多国籍会社及び上場企業向けに法律サービスを提供しており、業務分野は特許・商標・営業秘密・不正競争・独占禁止などです。

特に謝冠斌弁護士は知的財産権紛争解決と独占禁止関連の業務分野で豊富な実務経験を積んでおり、最高裁判所及び地方各級裁判所の要請により、複数回にわたって専門家意見を提出したことがあります。

主な取扱事件

[商標紛争]

- 「国美」商標の著名性に対する司法認定
- PICC ドメインネーム関連の紛争事件
- フランスのダノン会社と中国のワハハグループ間の「娃哈哈」商標紛争事件

[特許紛争]

- 台湾の VIA 会社とアメリカの某集積回路会社間のマイクロプロセッサに関する特許侵害訴訟事件
- アメリカの Heinz 食品会社の食品包装に関する特許侵害訴訟事件
- 某テレコム業者と HUAWEI 会社間の 100 数件の特許侵害訴訟事件
- 台湾の康師傅会社がデザイン侵害を理由に統一会社を起訴した事件
- フランスの Rhodia 会社と天津市某ハイテク会社間の特許侵害訴訟事件

[著作権紛争]

- 台湾の某金融ソフトウェア会社を代理して最高裁判所で行われた二審裁判で成功的に権利非侵害抗弁を行う。
- マイクロソフト会社のために著作権侵害に関する多数の行政取締を行う。

- アリババ情報技術有限公司と 11 社の国際ディスク会社間のヤフー検索エンジン MP3 に関する音楽著作権紛争事件

[不正競争]

- チーフー会社とテンセント会社間の不正競争関連訴訟事件
- アメリカン・スーパーコンダクター（AMSC）と中国某風力発電会社間の不正競争関連訴訟事件
- 映画『人在囧途』に関する不正競争訴訟事件
- 中国インターネット情報センター（CNNIC）と某会社間の不正競争及び名誉権侵害関連の訴訟事件

[独占禁止]

- チーフー会社とテンセント会社間の独占禁止関連の訴訟事件（最高裁判所で審理した最初の独占禁止関連の訴訟事件である）
- クアルコムに対する国家発展改革委員会の独占禁止関連の行政取締に協力

資格/会員

- 弁護士
- 商標代理人
- 北京仲裁委員会 仲裁員
- 北京仲裁委員会 国際商事 仲裁員
- 武漢仲裁委員会 仲裁員
- 南京仲裁委員会 仲裁員
- 重慶仲裁委員会 仲裁員
- 中国国際経済貿易仲裁委員会 ドメインネーム紛争解決センター 専門家
- 清華大学 法学修士課程 指導教授
- 北京大学国際知的財産権研究センター 研究員
- 北京大学競争法研究センター 研究員
- 北京市東城区弁護士協会 会長
- 北京市東城区人民政府 法律顧問
- 中華全国弁護士協会 知的財産権専門委員会 委員
- 中国科学技術法学会 常務理事
- 北京知的財産権研究会 理事

受賞実績

- Chambers Band 1 Leading Individual in the IP field
- Managing Intellectual Property IP Star
- Outstanding IP lawyer of China Law and Practice 2014
- 2013 年度独占禁止業務分野の 10 大弁護士（2014）
- 北京市 10 大知的財産権弁護士（2013）
- 北京市優秀代表弁護士（2010）
- 第 2 回北京弁護士フォーラム優秀論文 2 等賞（2010）
- 中華全国弁護士協会知的財産権専門委員会 10 大事例賞（2010）
- 中華全国弁護士協会知的財産権専門委員会 10 大知的財産権論文賞（2009）
- 国家科学技術奨励事務室 第 1 回科学技術関連法律優秀人材賞（2008）

論文/書籍/講義

- 「標準特許濫用行為に対する独占禁止法執行の里程碑: クアルコム事件に対する評論」 (2015.03)
- 「外資企業は中国の独占禁止に関する立場に慣れるべきだ」・北京タイムズ (2014.08.16)
- 「独占禁止法の執行は中国式に変わったのか？」
- 「中国の知的財産権濫用に関する独占禁止規制の動向に対する簡略な分析--クアルコム会社が受けた知的財産権濫用関連の行政調査に対する評論」
- 「IDC の市場支配的地位濫用事件の調査中止に対する簡略な評論」
- 「クアルコム事件は知的財産権濫用に対するノーサインである」・京華日報 (2014.07.14)
- 「中国知的財産権 20 年」・特許文献出版社
- 「中国知的財産権法」・オーストラリア CCH 出版社
- 「中国税務法の理論と実践」・武漢出版社
- 「科学技術幹部の法律読本」・中国法制出版社
- 「チーフがテンセントに対して提起した市場支配的地位濫用訴訟事件の二審判決に対する評価・分析」・科学と法律 (2014)
- 「意匠特許中の機能性の特徴分析」・知的財産権出版社 (2011.03)
- 「技術標準の著作権問題に対する判別分析」・知的財産権 (2010)
- 「著名商標の保護が仮想繁栄から理性への回帰」・法制日報 (2009.04.30)
- 「検索エンジンサービス業者の著作権侵害責任」・科学技術と法律 (2009) (2011.03)
- 「Tomato garden 事件から見る知的財産権戦略」・法制日報 (2008.08.24)
- 「検索エンジンサービス業者の法律上の最低義務について」・法人 (2008.02)
- 「インターネット検索サービス業者の過失責任に対する合理的な分析—ヤフー事件と百度事件の一審判決に対する再評価」・知的財産権 (2008)
- 「DEXian と Sony 間の訴訟事件から見る知的財産権濫用に対する独占禁止規制」・電子知的財産権 (2007.08)
- 「中米知的財産権 WTO 紛争の可能性及び対策分析」・法制日報 (2006.09.25)
- 「無形資産競争の法規則に対する分析」・知的財産権 (2002.03)
- 「我が国の科学技術成果管理制度と知的財産権制度の比較及び協調発展の対策」・科学技術と法律 (2002.03)
- 「ドメインネームの保護と知的財産権制度の発展」・法学評論 (2001.03)
- 「IKEA 事件から見る中国ドメインネームの保護政策」・中国法律 (2000.04)
- 「知的財産権事件における技術鑑定」・科学技術と法律 (1999.02)
- 「営業秘密の法律保護」・科学技術と法律 (1995.04)
- 「知的財産権制度の国際化と地域性」・中国機電工業 (1995.03)
- 「中国不正競争防止法」・中国財經新聞 (1994.05.12)